

ナイガイ

熱絶縁施工技能士 1級に合格

特定技能外国人で初

能9人が在籍している。今回の合格は、同社が外国人材の働きやすい環境づくりやスキルアップに向けた取り組みの成果になる。

クエットさんとロンさんは、特定技能2号の資格取得を目指し、家族を日本に呼び寄せたいという強い思いから受験を決意した。実技試験では先輩社員のサポートもあり好成績で合格したが、学科試験では日本語の専門用語に苦戦したという。それでも、社内のバックアップ体制による支援や

社長のアドバイスを受け、見事に合格を果たした。

また、自社寮完備や安定した収入、大量採用による仲間づくりのしやすさ、適度な距離感のある職場環境など、技能実習生が働きやすい環境を提供している。これにより、多数の応募と高い継続率を実現している。

この成功は、外国人材のスキルアップと定着に向けた同社の取り組みの一環であり、今後さらなる発展が期待される。

保温・保冷工事を手掛けるナイガイ（東京都墨田区）で活躍するベトナム人のグエンカイン・クエットさんとチェウタイン・ロンさんが、特定技能外国人として初めて熱絶縁施工技能士1級に合格した。この資格は、保温・保冷工事や断熱工事に必要な知識と技術を証明する国家資格で、合格率は4～5割と言われる。

同社は、7年前から外国人技能実習生の採用を始め、現在55人（特定技



グエンカイン クエットさん（左）とチェウタイン ロンさん（右）